高等学校 令和７年度（２学年） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教　科：　家庭　　科　目：　家庭基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　8 組

使用教科書：（『家基707図説家庭基礎』（　実教出版　）　　）

教科　家庭　　の目標：

【知識及び技能】家族や家庭生活のありかた，子どもと高齢者の生活と福祉，生活の自立のための衣食住や消費生活・環境などの基礎的な知識・技術を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ，生活に関わる様々な事柄に対して自分のこととして考え、実践していくことができる。

【学びに向かう力、人間性等】生活課題を主体的に解決し，生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。

科目　家庭基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め，生活を主体的に営むために必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて理解しているとともに，それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	自分らしい生き方 ・青年期の課題である生活的・経済的・精神的・性的自立について理解し，自覚できるようにする。 ・生活設計の方法と生活資源の重要性について理解する。 ・人生を考えるためには経済設計が重要であることを理解する。	自分らしい生き方 ・青年期の生き方について自立の観点から学習する。 ・自己分析をすることで自分らしい生き方について考える。 ・生活にはどのような場面で金銭が必要となるか考える。	【知識及び技能】 ・４つの自立について理解し，自分らしさは一人ひとり異なることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自立へむけて課題を発見し，自身の将来について思考・判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自己分析し自分の生き方について考える。	○	○	○	4
	消費行動を考える ・問題商法や，被害にあった場合の解決方法について理解する。 ・さまざまな支払い方法のしくみや計画的にお金を使うことの大切さを理解する。 ・消費者の権利と責任について理解する。	消費行動を考える ・多様な販売方法や，問題商法の種類と対処法について学習する。 ・多様化している支払い方法や多重債務の予防と対処について学習する。 ・近年の消費者問題を学び，問題解決のための消費者運動や消費関連の法律を学習する。	【知識及び技能】 ・クレジットやローンなどの消費者信用を前提とした支払い方法のしくみを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題に対して早期に解決するための方法について思考・判断ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習に基づいた行動をとることができる。	○	○	○	4
	定期考査	なし					
	衣生活をつくる ・人と衣服のかかわりについて，その背景や風土などを考えながら理解する。 ・衣服の機能を理解する。 ・衣類の製造には，多くのエネルギーが使われていることを知る。 ・私たちの衣生活が世界規模で営まれていることを理解できる。 ・衣生活と環境のかかわりを考え，環境に配慮した衣生活を営めるようになる。 ・衣生活が国際化する中，問題点を把握し，自分の行動を見直す。	衣生活をつくる ・人と衣服のかかわりや，衣服の機能について学習する。 ・快適で安全な衣服について学習する。 ・衣類素材の性能や加工・改善について学習する。 ・衣服の入手から処分までの流れを学習する。 ・衣服の表示を見ながら，衣服購入のポイントについて考える。 ・衣生活と資源・環境とのかかわり，また，環境に配慮した衣生活について学習する。 ・ファストファッションについて，事例を挙げながら話し合い，商品選択の際に心がけることを考える。	【知識及び技能】 ・衣服が着用されるようになった説について，その背景や風土などを考えながら理解できる。 ・自然環境と衣服のかかわり，社会環境と衣服の関係から，衣服が持つ機能を理解することができる。 ・修繕に必要な基礎縫いができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ファストファッションの問題点を把握し，自分の行動を見直すことができる。 ・快適な衣服とはどのような着心地か考えられる。	○	○	○	8
	定期考査	定期考査	定期考査				2
	経済的に自立する ・家計の構成や，収入と支出の特徴を理解する。 ・給与明細の見方を学習し給与の使い方をシミュレーションする。 ・生活設計とかかわらせて，長期の経済設計の必要性について理解する。	経済的に自立する ・家計の構成（収入・支出）を学習する。 ・現代の家計の特徴について学習する。 ・ライフイベントや生活のリスクなどに備えた，生涯を見通した経済計画と管理について学習する。 ・家計と国民経済・国際経済のつながりについて学習する。	【知識及び技能】 ・家計の構成がわかる。 ・収入と支出の種類と特徴がわかる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・給与の使い方をシミュレーションし，思考することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組み実践していこうとする	○	○	○	2

	衣生活をつくる ・被服の構成や、基本的な手縫いなどの手法について理解する。	衣生活をつくる ・被服の構成や、基本的な手縫いなどの手法について理解するための実習を行う。	【知識及び技能】 ・被服の構成や、基本的な手縫いなどの手法がわかる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・被服の構成や、基本的な手縫いなどの手法が実践できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・グループ活動や被服製作実習に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	子どもとかかわる ・子どもの身体の成長について，大まかな流れと特徴を理解する。 ・子どもには独特の世界があることを理解する。 ・発達には人とのかかわりやふれあいなど，豊かな経験が必要なことを理解する。 ・すこやかな成長には生活習慣の形成や健康管理，安全対策が重要であることを理解する。 ・子どもの食生活・衣生活について理解を深める。 ・遊びの影響や種類を理解する。 ・子どもを生み育てる意義について理解する。 ・子どもの人間形成における家庭の重要性を理解する。 ・家庭保育と集団保育，子育てのための国や地域の社会的支援について理解する。 ・子どもには，すこやかに育つ権利があることを理解する。	子どもとかかわる ・子どもの身体の成長について，大まかな流れと特徴を学ぶ。 ・発達の順序や子どもの世界観を学ぶ。 ・人の発達において，保育や人とのかかわりがいかに重要であるかを考える。 ・子どものよい生活習慣はすこやかな成長を促すことや，子どもの健康管理や安全対策の重要性について学ぶ。 ・子どもの食生活・衣生活について学ぶ。 ・おもちゃや絵本などの児童文化財が子どもの発達や生活にどのような影響を及ぼすのかを考える。 ・子どもの遊びが豊かになるにはどうしたらいいか考える。 ・子どもを生み育てる意義と人間形成の過程について考える。 ・これからの親子関係について，事例をもとに考える。 ・子育てにおける社会環境について考える。 ・子育ての環境について考える。 ・子どもの権利や福祉について学習し、社会的問題について考える。	【知識及び技能】 ・誕生から幼児期までの子どものからだや運動機能、知的発達ににについて理解する。 ・子どものものの見方・感じ方には子ども独特の世界があることが理解できる。 ・人の発達において，保育や人とのかかわりがいかに重要であるかを理解できる。 ・社会性が育っていく過程について理解する ・子どもの遊びの重要性について理解する。 ・生命の尊さ，子育ての意義について理解することができる。 ・子どもがすこやかに育つための社会的な環境整備について理解できる。 ・子どもの福祉について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて，情報を収集し，まとめることができる。 ・自分の現在・将来と結びつけながら，考え，学習することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・子どもの発達に対し，どのような関わり方がよいか考えようとしている。 ・グループ学習で積極的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	定期考査	なし					
2学期	食生活をつくる ・現代の食生活の傾向を理解し，健康的な食生活の必要性に気づく。 ・栄養とからだのつながりを理解する。 ・栄養素と水のはたらきを理解する。 ・五大栄養素のの働き，それぞれの五大栄養素を多く含む食品の特徴についての基礎的知識を身につける。 ・甘味料・塩味料・酸味料・うま味料，香辛料等の種類について理解する。 ・コーヒーなどのし好食品，菓子などの食品，加工食品の種類と特徴について理解する。 ・食品の旬や食品を選択する際に必要な品質表示の見方，また，選択する際のポイントがわかり，食品を適切に選択することをできるようにする。 ・特別用途食品や保健機能食品等についての種類と特徴，表示などについて理解する。 ・私たちの食生活が世界とつながっていることを認識する。 ・調理の流れ，調理操作を理解し，調理技術を習得する。	食生活をつくる ・食べることと健康のかかわり，現代の食生活の変化と問題点について学習する。 ・五大栄養素と水について学習し，からだとのつながりについて考える。 ・五大栄養素の働きと，五大栄養素それぞれを多く含む食品について学ぶ。 ・味に大きな影響を及ぼす調味料や香辛料，さまざまな加工食品について学ぶ。 ・食品の旬や選択する際のポイント，食品の品質表示について学ぶ。 ・普段食べている食品がどこで生産されているのかを考え，日本の食料自給率の低さからくる問題点等について学ぶ。また，食の安全にかかわる問題についても学習する。 ・安全なものを食べるための取り組み，環境への取り組みを学ぶ。 ・未来の食卓を考え話し合う。 ・調理の一連の流れを実践し，その理論やコツを学習する。	【知識及び技能】 ・生活習慣病，摂食障害，月経異常などと食生活がかかわっていることを理解できる。 ・五大栄養素と水についての人のからだの中での働き，また，人のからだの成分についての基礎的知識を習得できる。 ・五大栄養素の働き，それぞれの五大栄養素を多く含む食品の特徴についての基礎的知識を身につけることができる。 ・調味料，香辛料，嗜好食品の種類と特徴について理解できる。 ・特別用途食品や保健機能食品等の種類と特徴，表示などについて理解できる。 ・日本の食料自給率についや輸入食品に頼っている現状・課題について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・食品と栄養，調理との関係において科学的な視点をもって知識を深めようとしている。 ・災害食について理解し，実践しようとしている。 ・調理実習において，作業の流れを考え，効率的に判断しながらとりくむことができる。 ・調理実習においては，積極的に参加しようとしている。後片付けまできちんと行っている。 ・食事マナーを身につけ，楽しく食事することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の現在の食生活を振り返り，課題を見つけ，改善にむけて積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査	定期考査	定期考査				1
	住生活をつくる ・自然災害や人為的な災害と対策について理解する。 ・家庭内事故と安全な住まい環境について理解する。 ・平面表示記号を理解している。 ・生活行為と住居、ライフスタイルと住まいの関係などを深く理解し、将来に向けて知識を活用し、自分の考える理想の住宅について考えられる。	住生活をつくる ・自然災害や人為的な災害と対策について学ぶ。 ・家庭内事故と安全な住まい環境について考える。 ・平面表示記号がわかる。。 ・生活行為と住居、ライフスタイルと住まいの関係などを深く理解し、将来に向けて知識を活用し、自分の考える理想の住宅について考えられる。	【知識及び技能】 ・災害とその対策について理解できる。 ・安全な住まいづくりや住環境について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・防災・減災対策について考えるができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・防災・減災対策を実践することができる。	○	○	○	1

3学期	食生活をつくる ・食事摂取基準を理解し，何をどれくらい食べるのかを理解する。 ・実際にバランスのよい食事計画につなげることができるようにする。 ・食品群別摂取量のめやす，食事バランスガイドを，生活の中で使い分けることができるようにする。 ・食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすを考慮しながら，家族や状況にあわせて献立を作成できるようにする。	食生活をつくる ・健康な生活を営むためにどのような栄養素がどれくらい必要なのかを学ぶ。 ・食品群別摂取量のめやす，食事バランスガイドを見ながら，何をどれだけ食べればよいのか考える。 ・献立作成のポイントや，ライフステージを考えた献立作成を学ぶ。	【知識及び技能】 ・食事摂取基準と食品群別摂取量を理解し，実際にバランスのよい食事計画につなげることができる。 ・ライフステージと栄養の関係，献立作成時のポイントを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすを利用しながら，実際の生活において家族のライフステージも考えながら献立を作成することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・グループの中で積極的に活動し、意見を交換することができる。	○	○	○	8
	高齢者とかかわる ・高齢社会の現状を理解するとともに，高齢者への理解を深める。 ・高齢者の介護について，介護される高齢者も介護する者も対等な関係にあることを認識する。 ・介護保険制度のしくみやサービスの内容などを理解する。	高齢者とかかわる ・高齢者とかかわることの意義，高齢社会の現状と課題について学習する。 ・高齢者を支えるための心持について考える。 ・介護保険制度について学習する。 ・これからの介護と課題について，事例を用いて考える。	【知識及び技能】 ・現在の高齢社会，高齢化の進む社会について統計などより理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢期の過ごし方について自身や家族のことと結びつけながら考えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分事として積極的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	定期考査	定期考査	定期考査				1
	社会とかかわる ・福祉，ソーシャル・インクルージョンの考え方を学ぶ。 ・自助，互助，共助，公助の状況に応じたバランスを考える。 ・社会保障制度とその目的について学ぶ。	社会とかかわる ・福祉の考え方を理解する。 ・社会保障制度は行政を介した助け合いであることを理解する。 ・地域福に祉とその課題に関心を持ち，活動に参画する姿勢を養う。 ・ボランティア活動に興味・関心が持てるようにし，実際の活動につなげる。	【知識及び技能】 社会福祉やインクルージョンの意味・考え方や支えあう社会づくりの重要性を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分でできることは何かを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・社会の一員としての自覚を持ち，興味・関心を持って，積極的に活動している。	○	○	○	3 合計 60